

記事掲載のご紹介

マガジンハウス BRUTUS(ブルータス) 10月15日号

【タイトル】

「WORLD HIP OFFICES」FILE 13 THE FLAT
世界最大級のSOHOビル「the SOHO」 青海では、どんな未来が動き出しているのか？

【記事の概要】

—世界のHIPなオフィスを紹介する連載13回目 <THE FLAT>

ロサンジェルス最先端スポットとして、「new frontier」とも呼ばれるエリアにひととき目を引くビル<The Flat>。もともとはHoliday Innだったものを大改装。SOHOスタイルのマンションへと変身を果たした。プール付きのレストラン、スポーツジム、ビリヤードルームなど居住部分以外の施設も充実し、さまざまな職種の人が、住居兼オフィスとして利用している。地下鉄の駅まで歩いてすぐ、空港へ無料のシャトルバスが出ているアクセスのよさも、フットワークが軽いクリエイターや若い企業家に愛される理由のひとつ。世界中を飛び回る彼らが交わる場所として、ロサンジェルス新しいクリエイションを支えているはずだ。

—「the SOHO」の進捗状況レポート13回目

岩本 裕／プロパスト 第3事業部長「the SOHO」プロジェクトリーダー

NYでは、マンハッタン対岸に車を停め、船に乗り換えて通勤する。そんな日常があります。青海地区でもそんな日常を実現すべく、船の有効活用を計画中。例えば、通勤だけでなく夜景を楽しむ船上パーティーなど。青海には、仕事に集中できる環境と自分を解放できる環境がある。そのシチュエーションでこそ新しい発想は生まれると思います。臨海副都心では、多くの企業がオフィスビルや住宅などを開発予定で、特に青海地区では、アートを中心とした街づくりが進みつつあります。我が社のオリジナリティを大切にしつつ、各社との連携を高め、青海全体を盛り上げていきたいと思っています。

【掲載誌のご紹介】



BRUTUS(ブルータス) 10月15日号

出版社 : マガジンハウス
発売日 : 2008/10/1(月2回刊版)
掲載面 : 114ページ
定価(税込) : 630円



※当リリースにつきましては、記事の掲載のご紹介を目的として、その掲載内容の要約を記したものであり、情報源となる記事の一切は、株式会社プロパストが作成したものではありません。

※株式会社プロパストの配信するリリースに掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。

※情報の提供は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、当リリースの情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。